

特定非営利活動法人

バングラデシュと手をつなぐ会

ミロン

No.113

March 2008



福岡市市民国際貢献賞 表彰式

濱さん、木村理事、二ノ坂代表、ラフマン理事、洲上理事

吉田・福岡市長

久保・福岡市議会副議長

特定非営利活動法人

バングラデシュと手をつなぐ会

福岡市早良区西新5-4-20

TEL&FAX:092-844-1369

ホームページ: <http://bangla.nngo.jp>

※「ミロン」は一つになる、

手をつなぐという意味のベンガル語です。

■ アジアの子どもたちの未来のために ■

バングラデシュと手をつなぐ会へあなたも参加しませんか

バングラデシュと手をつなぐ会では、バングラデシュ・カラムディで現地の村人による開発のための委員会「ションダニ・ションスタ」と協力して【教育】と【医療】の分野で次のような支援活動を行っています。

教育の分野では……

将来を担う子どもたちの教育の普及と向上のために

- ① 小学校の建設【1987～89年】とその後の運営支援
- ② 貧しくて学校へ行けない子ども達への奨学金制度
- ③ 職業訓練【ミシン】で技術を身につける
- ④ 教科書図書館【教科書が買えない中学生のために、教科書の貸出】

医療の分野では……………

命と健康を守るために

- ① 母子保健センターの建設【1995年】とその後の運営支援
- ② 医療設備の充実
- ③ 緊急患者対応のために救急車の配備【1998年～】
- ④ 現地医師、看護婦のための訪日研修【1995年～97年】
- ⑤ 出産前女性への母親教室
- ⑥ 村の保健衛生向上のための巡回健診と衛生指導



国内活動では……………

夏の現地訪問、冬のスタディツアーを毎年実施しています。

- ① 会報誌【ミロン】の発行
- ② 定例会の開催【参加型学習会など】
- ③ 現地訪問の報告会の開催、報告書作成と記録ビデオの製作
- ④ チャリティコンサートおよびバザー
- ⑤ 総会【毎年4月、予算・決算と活動方針やその決定など】

20周年～市民国際貢献賞受賞～総会を盛り上げましょう

大木松子前代表が始めた活動が「小学校をつくる会」から「バングラデシュと手をつなぐ会」に発展し、今年は20年目を迎えました。ジャパニ小学校の建設、奨学金支援、職業訓練から、医療状況の調査、母子保健センターの建設そして運営。現地訪問を軸にして、村人たちと同じ視点に立って、課題を一緒に考える、というスタンスで活動を行ってきました。

20年がすべて順調だったわけではありません。現地でも、私たちの会でもいろいろな問題に直面してきました。しかし今、この活動が20年続いてきたこと、少しずつですが前進していることを誇りに思います。市民国際貢献賞はそのような活動に対する多くの皆さんの励ましたと受け止めました。

早いもので昨年の総会からもうすぐ一年になります。2月には一泊で会員研修も行いました。新しい会員や理事も、会の歴史を共有し、これからの活動に意欲を燃やしています。

これからも、皆さんと一緒に力を合わせて、バングラデシュと手をつなぐ、という会の基本理念を、一步ずつ実践していきたいと思います。5月21日(日)の総会に皆さん、どうぞお集まりください。一緒に楽しく語り合しましょう。

(代表 ニノ坂 保喜)



ミロン号目次	
あいさつと目次	1
カラムディ村便り～現地報告～	2～3
イベント報告	4～5
福岡市民国際貢献賞受賞	6～7
イベント・募金の報告及び御礼	8
会計報告・行事予定	9
イベント告知	裏表紙

～カラムディ村便り～

ラフマン・モクレスール

■母子保健センターの正常化

10月半ばに Dr. Sayed が退職し、その前後看護師も次々と離れて行った。そのため、3ヶ月以上も母子保健センターの診療活動はストップされていたが、やっと1月半ばから少しずつ元に戻ろうとしている……

ションダニは全国版の新聞に広告を掲載したり、口コミで必死になって医師や看護師を募集したが、反応は鈍かった。給料も一つの要因だが、それ以上に医師のような高度な専門技術を持った人が田舎で働きたがらないのが最大の原因である。前回紹介したように、暫定政権ができてから病院やクリニックにおける必要なスタッフ数の確保が要請され、それらの医療機関は高い給料を払ってでも医師や看護師を囲い込んでいる。結果としてションダニのような奉仕目的で立てられた田舎のクリニックは空っぽになり、大変深刻な事態におちいつてしまった。

12月19日付けで Dr.Selim (2007年医大卒)、また1月15日付け Dr. Shohel (2006年医大卒) が着任した。また2月1日付けで2人の準看護師 (Momota Shorkar と Kajoli Mollik) が着任し、在職の Rahel Mondol (準看護師)を含む3名の看護師を確保できた。現在、ションダニションスタでは、二人の医師を同時に雇うほどの余裕はなく (二人の給料を合わせて日本円で月額14万円ぐらい) 苦渋の選択として Dr. Selim に退職してもらい、その代わりに二人のパラメディック (夫婦) を雇った。(二人のパラメディックの給料合わせても医師1人分の半額である。) 女性のパラメディックは産婦人科病棟の責任者として働き、男性のパラメディックは医師の補助員として働く。Dr. Shohel はエコーの勉強のために週2日カラムディ村から約45キロ離れた町に研修に行っており、その間、男性のパラメディックが診察活動をしている。また医師がいるときも必要に応じて医師のサポートをしている。そのほかエク

ラムールとペアを組んでサテライト・クリニックを回り、衛生教育指導を行っているとのこと。

長い間、母子保健センターの診察活動が閉ざされ、シヨンダニに対する地域住民の不信も高まっている。現在、スタッフの確保ができてそのスタッフはまだ十分に機能していないこと、また地域にスタッフについての情報も十分に知れわたっていないことが母子保健センターのネックになっている。フル稼働するまでには、しばらく時間が掛かりそうである。

今朝シヨンダニに電話をかけ、これからのことを聞いたところ、あまり安心できない状況がこれからも続くようである。まずパラメディックの二人はもしかするとあまり長くいないかもしれない。3月に国立病院での採用試験があり、合格すればそちらに行ってしまう可能性が高い。医者も例外ではない。Dr.Shohel はガンニ近くの村の出身のため優先して採用した。彼は今家族で（夫婦と子ども1人）シヨンダニの宿舎に滞在している。しかし話によると、近い将来、妹と妹のフィアンセ（両方とも医師）がダッカでクリニックを開院し、自立することを目指しているという。そうになると、シヨンダニの苦難はこれからも続く。

■シヨンダニ・スクール&カレッジ

シヨンダニ・スクールの新年度が始まり、それに伴って様々な行事やイベントが用意されている。まず入学試験、入学式、修学旅行、文化祭などである。今年度の入学試験は多くの生徒が受験し、在學生と新入生を含めて600名の生徒数になった。ここ数年、学生に大学環境について予備知識を身につけてもらう目的で修学旅行先を国立大学にし、昨年はラジュシャヒ大学、今年は北部にあるバングラデシュ農業大学を訪問した。116名の生徒と7名の教員が参加し、大学の教授や学生から歓迎を受けた。この修学旅行は学生にとって大きな励みになるだろう。また3月6日には文化祭が予定されており、生徒たちはそれぞれのクラスや部の独自性や特色を発揮できるように準備に取り組んでいるようだ。どんな文化祭になるか次の報告が楽しみである。

◆◇◆ バングラカレー 料理教室 ◆◇◆

- 日時：1月27日
- 場所：福岡市立婦人会館 調理室
- 参加者：24名

年に一度のお楽しみ、バングラカレーの料理教室が開催されました。今年は BD 福岡という福岡市内で活動しているバングラデシュからの留学生メンバー3人も加わり24名での開催でした。参加者は例年どおり女性の方が多かったですが、男性の方もちらほらと見うけられました。

メニューはムルギルマングショ（チキンカレー）、ピアズ（レンズ豆と玉ねぎのスライスのかき揚げ）アルウルボッタ（バングラ風ポテトサラダ）。今年もシャヒダさんを講師に迎え、私のような料理初心者も、ベテランの方も和気あいあいと料理をしました。そして試食！ムルギルマングショはもちろん、ピアズ、アルウルボッタもピリッと辛くておいしかったです。スパイスの効果でしょうか。体がぽかぽかと温まりました。

食事の後、二の坂代表から、BD 福岡のメンバーへサイクロン被害の募金が贈呈されました。その額はなんと29万5000円！！ご協力いただいた皆様ありがとうございます。（募金についての詳細は P8 参照ください）
（千蔵）

◆◇◆ 会員研修 ◆◇◆

- 日時：2月2日・3日 16:00～21:30
- 場所：福岡市南区三宅<富士の苑>
- 参加者：15名

今回、久しぶりに研修会に参加することができ、嬉しかったです。研修会に参加して、この会の意味や目的とすることがよく分かりました。今までも、会議や現地訪問を通して、なんとなく分かったような気になっていましたが、自分のなかでどこか明確でないところがあり、しかしそれを周囲に問うこともせずにきていました。研修の中で会の発足からこれまでの活動をもう一度、振り返り、ラフマンさんや二ノ坂先生のお話を聞いて、今まで不明瞭だったことや今後のことを考えるよい機会となりました。医療の面、教育の面で様々な課題があり、これらの課題はすぐに解決することは難しいですが、少しでも良い方向へと向かうようにションダニと手をつなぐ会、みんなで協力していけたらと思いました。自分が直接、何かをして状況を変えられることはないけれども、こうして皆さんと話し合いの場に参加し、自ら発言したり、他の人の話を聞いたりすることでも意味があるのではという気がしました。そして何より、普段あまりお会いできない方や初めての方と一緒に過ごすことができ、とても楽しく、勉強にもなりました。
（宮崎）

◆◆◆ バングラカレー 料理教室 ◆◆◆



←シャヒダ講師
と、助手の
ラフマン氏



↑出来上がり！
カレーでお見せ
できないのが残念！
美味です。

技の伝承？ →
初心者とベテラン主
婦が仲良く調理中。



◆◆◆ 会員研修 ◆◆◆



←真剣な様子が伝わります。
みんなの真剣な表情、おわかりに
なりますか？

つかのまの休憩。
食事も大切な懇談の時間です。
↓

↓議論は白熱？



第一回「福岡市市民国際貢献賞」を受賞！

2月29日10時から、ソラリア西鉄ホテルにて第一回「福岡市市民国際貢献賞」の表彰式があり、会から二ノ坂代表、ラフマン、平山、淵上、木村の各理事及び濱さんが出席しました。

この賞は福岡市が、市を拠点に草の根レベルで開発途上国への国際協力や在住外国人の暮らしやすい環境づくり等の活動に取り組んでいる個人・団体を顕彰することにより、その活動を奨励することを目的として、今年から創設されたもので、今回「バングラデシュと手をつなぐ会」及び「高取校区国際交流推進委員会」が選ばれたものです。

会は、18年間にわたり、バングラデシュのカラムディ村及びその周辺地域の教育の普及・向上、保健医療の改善、生活の向上に関する活動を行ってバングラデシュの地域の発展に貢献したとして表彰されました。

表彰式は、「市民と市民が直接手を結ぶ草の根の交流は素晴らしい。深く感謝している」という吉田市長の挨拶の後、両団体がそれぞれ表彰状と記念の盾を受けました。

久保市議会副議長の来賓祝辞、それぞれの会の活動紹介のあと、二ノ坂代表が現地に出かけての人との交流、つながり、現地のNGOから学ぶこと等の大切さについて触れ、「この賞に市民と付いていることが特に嬉しい。今後もこれを励みに頑張っていきたい」と受賞の言葉を述べました。

授賞式の後懇談会に入りましたが、懇談会には高取校区国際交流推進委員会、NGO福岡ネットワーク、カンボジア地雷撤去キャンペーン、くるんて〜ぷの会、女性エンパワーメントセンター福岡、小さな国際交流の会、西日本スリランカ奨学金協会、JICA九州（国際協力機構九州国際センター）、西日本新聞社、福岡市国際部が参加しました。

自己紹介、各団体の簡単な活動状況報告の後、懇談に入りましたが、財政、人材、事務所、催しの場合の安い会場探し等、活動をしていく上での困難や、日本におけるNGO,NPO基盤の脆弱さ、NGO,NPOがあつてこそその福岡市だと思うなど、行政の関わり方に付いても含め、沢山の要望意見が出されました。

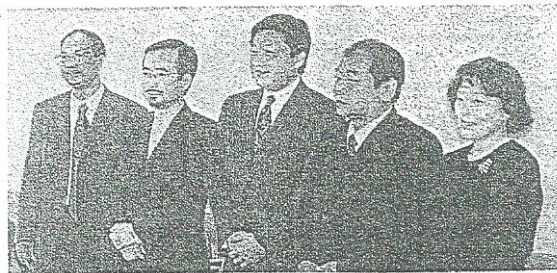
市の国際部では、「皆さんの知恵を借りながらホームページによる紹介等、先ずは出来ることから始め、これを機会に一步でも、福岡市の国際化を更に進めていきたい」との考えを示していました。

授賞式及び懇談会に参加する中で、第一回の貢献賞をちょうど活動20周年の今年受けたことに感謝すると共に、今度の市民国際貢献賞を皮切りに、市がNGO,NPOの意見を聞き、交流を図ることに一步踏み出したことは大変結構な事ではないか。との思いを強く持ちました。

(木村)



市民国際貢献賞に2団体



吉田市長（中央）から激励を受けた「フ坂代表（左から2人目）」と倉光会長（右から2人目）ら

国際貢献への市民の理解と関心を高め、参加を促すというところ創設された。原則的に、同市を拠点とし、開発途上国への協力活動や、市在住の外国人の喜ばしい環境づくりなどに関して活動する個人や団体が対象。

「高取校区国際交流推進委員会」

「バンクグラデシユと手をつなぐ会」

福岡市が、草の根レベルで国際交流を取り組む個人や団体をたたえる「市民国際貢献賞」を創設し、初の受賞者に「特定非営利活動法人 バンクグラデシユと手をつなぐ会」（フ坂保智代表）と「高取校区国際交流推進委員会」（倉光伊佐武会長）を選んだ。

福岡市が創設

「たニハシアード大会」を機に設立。市在住の外国人向けに日本語講座や日本文化体験講座などを聞き続け、参加者から高い評価を得ているという。

「フ坂代表は「今後も現地と同じ目線で問題を考えるパートナーとして取り組みたい」と話した。また、倉光会長は「受賞を機に、ますます精進したい」と語った。吉田宏市長は「民間でこれだけ長期継続していることはありがたい。今後も活動を続け、市の国際貢献をアピールしてほしい」と話した。

新聞各紙でも取り上げられました

(右記事：読売新聞平成20年2月6日)

御礼申し上げます



九州大学医学部百年講堂にて、民芸品紹介

2008年1月20日(日)午後、九州大学医学部百年講堂にて、NPO法人九州医療システム研究機構主催でイベントが開催されました。その際、主催者の方のご厚意で、会場の一角を使い、バングラデシュの手工芸品や写真パネルを展示し、バングラデシュと手をつなぐ会の活動を紹介させていただきました。

来場者の方々は、写真パネルや手工芸品の前で思い思いに足を止め、私たちのことばに耳を傾けてくださいました。また、興味を持っていくつも質問を重ねてくださった方もおられ、うれしい思いをいたしました。

主催者の方、来場者の方、そしてブースをお手伝いくださった一步会の方。皆様、ありがとうございました。

また、皆様からたくさんの募金協力をいただきましたことも、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。(淵上)



サイクロン募金の御礼と報告

昨年11月15日、バングラデシュに非常に強い勢力をもったサイクロン「シドゥル」が直撃しました。「バングラデシュと手をつなぐ会」が協力して活動しているカラムディ村には大きな被害はなかったものの、南部沿岸地域を中心に、甚大な被害が出ていることが報道されました。会報112号で復興のための募金を呼びかけましたところ、12月と1月の2ヶ月間で、29万5千円の浄財が寄せられ、1月27日福岡に住むバングラデシュの留学生を中心にしたBD福岡のメンバーに手渡すことができました。

彼らから、他にも集まった募金と一緒に、バングラデシュ大使館を通じて本国政府に送金されたことの報告を受けています。

バングラデシュのサイクロンでは、1970年に30~50万人の人が亡くなったとされ、1991年は14万5千人の人が亡くなっています。2007年今回の死亡者4千人と発表されています。政府が防災に力を入れ、2次被害に注意を促すようになってきたからときいています。

皆様から寄せられた暖かい志で、被害に遭われた方たちが1日も早く以前のような生活に戻れるように願っています。募金の呼びかけにご協力頂きありがとうございました。

(中島)

BD-FUKUOKA

(A community of Bangladeshis living in Fukuoka, Japan)

27 January

Dear President
An Association of Shaking Hands with the Bangladeshis

I, on behalf of the BD-Fukuoka, acknowledge with thanks and appreciation to you for the contribution of a total of 295,000 Japanese Yen towards the relief of the victims of the cyclone.

BD 福岡からの御礼状

milon

<会計報告>

※サイクロン募金協力 (敬称略)

国際ソロプチミスト - 福岡東 松隈則子 江頭毅 今給黎靖子 トミタケイコ
にのさかクリニック募金箱 時枝泰司 佐藤修二 庄崎恵子 福島啓子 堀哲也
武久義幸 神谷佳子 塩澤久子 堀美那子 国際ソロプチミスト - 福岡東 行正春
12/6忘年会参加者 菅美枝子 中間令三 高尾智 江崎芳枝 松田純子
岩本博子 横田由香子 瀬良照子 松添仁 茂呂塾保育園 いぬお病院吉田祐子
大賀久美子 宇治松枝 村里やよい 中島ともこ

※募金協力 (敬称略)

Bangladesh の母子保健センターを支援する会河内英一 中牟田健児 武田正勝
加茂節 宮崎久美子 北島新二 堀昭代 家永道子 にのさかクリニック募金箱
九州大谷短期大学福祉学科 トミタケイコ 西南中学校 時枝泰司 村里やよい
大泉ベテル教会こどもれいはい 福岡ベタニヤ村教会 西南中学校母の会
濱元誠栄 1/27料理教室参加者

※旅費のカンパ (敬称略)

山下久代 吉川八重子 平島禎子 濱元誠栄

※新会員紹介 (敬称略)

野呂やす子 濱元誠栄

<2月10日現在>

ご協力ありがとうございます m()m

これからの行事予定

月 日	時 間	内 容	場 所
3月29日(土)	14:00~	バザー提供品値段付け	にのさかクリニック2F別室
3月30日(日)	12:30~ 13:00~	オカリナミニコンサート チャリティバザー	にのさかクリニック前駐車場 福岡市早良区野芥 4-45-55 (早良区野芥4丁目バス停そば)
4月3日(木)	19:00~	事務局会議	西新事務所
4月17日(木)	19:00~	運営委員会	西新事務所
4月20日(日)	13:00~	総会案内ハガキ& 総会資料印刷	にのさかクリニック
5月11日(日)	14:00~	定期総会	ももちパレス

※ボランティア募集

バザー提供品を集めています。

値段付け作業・バザー当日の売り子のお手伝いをしてくださる方ご連絡下さい。

※にのさかクリニック ☎092-872-1136・事務所 FAX092-844-1369

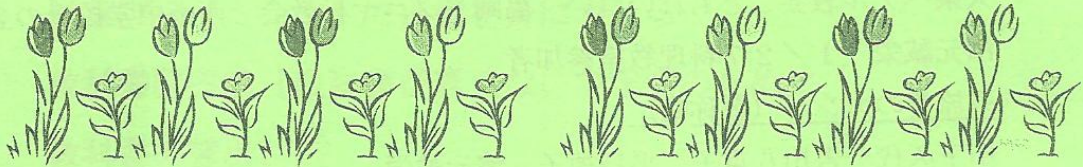
春のチャリティーバザー開催!

恒例のチャリティーバザーの季節がまたやってきました。春ですね♪
多くの方のご来場をお待ちしております。
また、併せましてバザー商品のご提供、及び前日の値付け・当日の売り子
ボランティアも募集しています!

- 日にち 3月30日(日)
- 時間 13:00~ オカリナコンサート
13:30~15:00 バザー
- 場所 にのさかクリニック駐車場



※このバザーでの収益金は、バングラデシュの医療と教育のために使わせて
いただいております。



定例総会のお知らせ

年に一度の定例総会のお知らせです。1年間の活動指針を決定・共有す
る大切な会議です。
皆さん、ぜひご出席ください。

- 日時 2008年5月11日(日)
13:30開場 16:40終了
- 場所 ももちパレス
福岡市早良区百道2-3-15 TEL 092-851-4545
- 当日の流れ 第1部 議事(14:00~15:00)
活動報告・決算報告・活動計画案・予算案
第2部 講演(15:15~16:30)
演題: <バングラデシュサイクロン被害報告会>
講師: 矢野孝明氏 (バングラデシュと手をつなぐ会理事)

主催&問合せ先: 特活) バングラデシュと手をつなぐ会
(TEL: 092-872-1136 にのさかクリニック)